

神奈川縣道路愛護共進會

神奈川縣廳土木部道路課

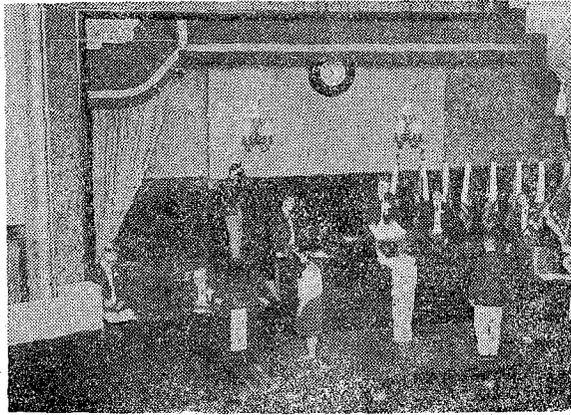
神奈川縣に於ける昭和十二年度道路愛護共進會は去る七月十九日同縣々會議事堂に於て舉行せられ授賞團體代表五十三名を先頭に共進會審査委員來賓等列席午前十時井上道路課長開會の辭に初まり横山土木部長の審査報告に尋で功勞旗、功勞加授章、一、二、三、四、五等の順序を以て半井知事より賞狀優勝旗を授與せられ尙道路改良會長よりの表彰狀を傳達し引續き半井知事の式辭來賓縣會議長の祝辭並受賞團體總代足柄上郡金田村道路愛護會の答辭ありて午前十一時井上道路課長閉會の辭を述て靜肅裡に終了せり。

同縣の道路愛護共進會は屢報の如く御下賜金拜戴記念事業として昭和四年度に創設爾來毎年引續き舉行せられ本年

は其の第九回目に於て年を重ねるに従ひ發展しつゝあるものである明年は丁度其の十周年を迎ふるが爲に之の十三年度事業は更に一段努力を要するものである、今本期成績の概況を擧ぐれば參加團體數二百八十一、參加人員七萬九千八百五十八人、擔當道路の總延長百八十九萬二千二百七十七米（内國府縣道延長五十八萬八千八百九十米、市町村道延長百三十萬三千三百七十九米）其の總面積七百二十八萬三十二平方米、作業に従事したる延人員二十八萬四千七百七十九人にして道路の維持保全上尠なからざる貢獻を爲せり

尙本年度は國民精神總動員下に對處する方策として道路愛護作業の強化を圖り一致協同以て集團勤勞の實を擧げ物

心兩方面相俟て一層の効果を收めむとし極力之が指導激勵を加へつゝあり必ずや累年に優る成績を齎らすものと期待



勝旗副賞金一百圓 足柄上郡金田村道路愛護會
二等賞地方優勝旗副賞金五十圓

さる因みに今回の受賞團體重なるものを擧ぐれば左の如し。

功勞旗
足柄上郡金田村道路愛護會
同 加授章
高座郡座間町
一等賞縣優

高座郡座間町、中郡岡崎村道路愛護會、高座郡六會村道路愛護聯合會、都筑郡田奈尋常高等小學校、高座郡相原村道路愛護會、足柄下郡函嶺道路愛護集團、三浦郡上宮田戸主會、足柄上郡三保村道路愛護會、横濱市磯子區峰町更新會

三等賞銀カツ副賞金拾五圓

鎌倉郡村岡村道路愛護會、高座郡澁谷村男女青年團、同郡小學校兒童道路愛護會、同郡田名村青年團小學兒童自治會、同郡有馬村青年團、同郡御所見村青年團、中郡大田村道路愛護會、同郡神田村道路愛護會、同郡金田村戸主會、足柄下郡早川少年赤十字團、同郡湯本少年赤十字團、同郡片浦少年赤十字團、片浦小學校道路愛護會、三浦郡長井町青年團、同郡北下浦長澤戸主會、足柄上郡福澤村道路愛護會、高座郡大澤尋常高等小學校自治會、津久井郡川尻青年團小學校兒童自治會、同郡内郷村青年團、同郡湘南小學校自治會、都筑郡柿生村、

岡上村戸主會、柿生村外一ヶ村組合青年會、横濱磯子區水取澤戸主會

四等賞賞牌金拾圓四十六團體

五等賞賞狀百三十八團體

次に本共進會參加道路の成績審査標準を示せば左の如し。

第一項 成績審査の基準

(1) 參加前の道路概況に依る點數 一五點

(2) 參加後の道路愛護に依る點數 七〇點

(3) 團體全般の成績 一五點

審査委員會に於ては前項第二號の參加後の道路愛護事項に依る點數に付ては第二項記載事項を調査し其の得點總計を七十點とす。

第二項 參加事項に依る點數査定標準

(1) 作業延人員 二〇點

(2) 路面の現狀 三〇點

(3) 擔任道路面積 一〇點

(4) 團體員に對する作業延人員の比率 五點

(5) 擔任道路交通量 五點

尙當日に於ける審査長の審査報告、知事の式辭、來賓祝辭並授賞團體代表者の答辭左の如し。

審査報告

本日昭和十二年度道路愛護共進會授賞式を舉行せらるゝに當り茲に審査の報告を爲すは本官の光榮とするところなり。

本共進會は昭和四年以降毎年引續き開催せられ本期を以て第九回とす。而して本會期に於ては參加團體二百八十一

參加人員七萬九千八百五十八人擔任道路の總延長百八十九萬二千二百七十米其の面積七百二十八萬九千三十二平方米に及び會期を通して作業に従事したる延人員二十八萬四千七百七十九人を算し之を前年度と比較するに團體數に於て三十六を減じたるも此の減少は既定の方針に基き小團體を併合し組織を大ならしめたる結果に外ならず寧ろ參加人員に於て一萬三千五百六十七人の増加を見るに至れり。

本會期の成績審査に關しては各土木出張所長、警察署長

並横濱市内關係區長の精密なる調査内申に基き審査委員に

於て數次の實地踏査を行ひたる後審査委員會を開き、一、

參加前の道路概況、二、參加後の道路愛護事蹟、三、團體

全般の成績、四、路面現狀等を基準として慎重審議の結果

足柄上郡金田村道路愛護會外二百十四團體を授賞すること

とし尙功勞旗を受くべき資格を得たる足柄上郡金田村道路

愛護會並加授賞を受くべき資格を得たる高座郡座間町の表

彰に付何れも長官の決裁を仰ぎたり、今次審査の結果を稽

ふるに時恰も支那事變に際會し都鄙を通し勞働力の不足を

告ぐるは勿論各種勤勞奉仕亦不尠しに不拘參加團員は克く

道路愛護督勵の趣旨を體得せられ實績の大に見るべきもの

あるは洵に欣快とするところにして是に一に關係者各位の幹

旋宜きを得たると團體員の甚大なる努力に由ると共に斯業

の進展に對し報道機關の熱心なる後援與て力ありたるを思

ひ此の機會に於て深く敬意を表する所なり

右審査の結果を報告し併せて所懐を述べ

昭和十三年七月十九日

道路愛護共進會

審査委員長神奈川縣土木部長 横山 喬

式 辭

本日茲ニ第九回道路愛護共進會表彰式ヲ舉行スルコトヲ得
ルハ洵ニ欣快トスル所ナリ

凡ソ文化ノ普及、産業ノ開發ニ資スル所以ノ施設素ヨリ不

尠ト雖交通運輸機關ノ整備改善ヨリ急ナルハナシ

本縣ハ帝都ニ隣接シ軍事上國防上ハ勿論産業上將又觀光の

見地ヨリスルモ極メテ樞要ノ地位ヲ占ム從テ陸上交通ノ根

幹タルヘキ道路ノ新設改築及之カ維持保全ノ事業ハ焦眉ノ

急務ナルニ鑑ミ銳意力ヲ此ノ方面ニ竭シツツアリト雖モ近

時著シク發達セル交通運輸ノ要求ニ應スルコト未タ以テ充

分ナリト謂フ能ハス其ノ完璧ヲ期スル蓋シ地元關係者諸子

ノ協力ニ須ツトコロ多シ

惟フニ道路愛護事業ハ管ニ道路ノ維持保全ニ裨益スル所ナ
ルノミナラス之ニ依リテ社會奉仕ノ美風ヲ涵養シ協同一致

ノ團結心ヲ作興スルニ與テ力アリト謂フヘク況ンヤ事變下ニ於ケル我邦現下ノ狀勢ハ國民精神總動員下ノ舉國一致銃後ノ護ヲ固メ國力ノ充實ヲ計リ堅忍持久萬難ヲ排シ以テ所期ノ目的貫徹ニ牢固不拔ノ覺悟ヲ要スルノ秋一層其ノ切ナルモノアルヲ覺ユ

願ルニ本縣ハ道路愛護獎勵規程實施以來年ヲ閱スル毎ニ實績大ニ舉リ其ノ參加人員ノ如キ八萬ノ多キヲ算フルニ至レルハ一ニ諸子カ本事業ノ趣旨ヲ理解シ公物愛護社會奉仕ノ精神ノ發露ニシテ其ノ顯著ナル功績ニ對シ深甚ナル敬意ヲ表スルモノナリ冀クハ本日受賞ノ各團體員ハ現下内外非常ノ時局ニ鑑ミ今日ノ成果ニ安ンスルコトナク益々奮勵努力相率ヒテ奉公ノ誠ヲ捧ケ愈々道路愛護ノ普及進展ニ邁進セラレムコトヲ茲ニ所懷ノ一端ヲ述テ式辭トス

昭和十三年七月十九日

神奈川縣知事 半 井 清

祝 辭

昭和十二年度神奈川縣道路愛護共進會授賞式ノ盛典ニ列シ

祝辭ヲ述フルハ最欣幸トスルトコロナリ

惟フニ道路ノ完否ハ地方産業ノ開發國民文化ノ進展ニ密接關係ヲ有スト謂フモ敢テ過言ニアラサルヘシ

今ヤ時局ハ支那事變ノ推移ニ伴ヒ内外益々多端ニシテ官民一致協力銃後ノ護ヲ固メ認識ヲ新ニシ以テ國力ノ充實ヲ期セサルヘカラス此ノ重大時局ニ際シ社會奉仕の事業トシテ最適切且ツ緊要ナル神奈川縣道路愛護事業ハ年々隆盛ニ赴キ參加團體ノ人員數約八萬ノ多キヲ算ヘ其ノ實績又大ニ舉リ全ク管内道路ハ面目一新シ交通運輸ノ利便増進ト相俟テ地方産業文化ノ進展ニ寄與スル所蓋シ大ナルモノアリト謂フヘク本縣道路政策ノ爲寔ニ慶賀ニ堪ヘサル所ナリ

抑モ本事業ハ公物愛護社會奉仕ノ精神ニ基ク尊キ表ハレニシテ本日其ノ榮譽ヲ得テ表彰セラルル團體員諸子ノ功績タルヤ洵ニ社會民衆ノ模範タルト共ニ謹テ敬意ヲ表スルモノナリ

希クハ受賞ノ光榮ヲ荷ハレタル團體各位ハ今後一層努力ヲ重ネラレ地方郷黨相率ヒテ益々美風ヲ發揮シ縣民ノ福利増

進ニ資セラレムコトヲ一言述ヘテ祝辭トス

昭和十三年七月十九日

神奈川縣會議長 青 木 巽

答 辭

本日玆ニ盛大ナル昭和十二年度神奈川縣道路愛護共進會授賞式ヲ舉行セラレルニ當リ受賞ノ光榮ニ浴スルヲ得タルハ誠ニ喜ニ堪ヘサル所ナリ

惟フニ社會ノ進展文化ノ發達ト共ニ交通機關ノ往來繁キ今日交通路タル道路ノ完備ヲ期スルコトハ言ヲ俟タサルナリ本日表彰ノ榮ヲ得タル各團體ハ町村ヲ舉ケテ一致シ「村ノ道路ハ村ノ顔」ト言フ心ヲ持シテ道路愛護ノ實ヲ舉ケ一面此ノ作業ニヨリテ社會奉仕ノ精神ヲ涵養シ勤勞報國ノ成果ヲ得ンコトヲ期シ唯吾等トシテ當然ノ務ヲ爲シ來レルニ過キス然ルニ本日ハ名譽アル賞ヲ受ケ且又知事閣下ヲ始メ來賓各位ヨリ御懇篤ナル訓辭並御鄭重ナル御祝辭ヲ賜リ誠ニ感激ニ堪ヘス非常時局ニ直面セル今日日本ノ名譽ニ報スルタメ御訓辭ノ數々ヲ肝ニ銘シ以テ奉公ノ誠ヲ致サムコトヲ

誓フ

受賞團體ヲ代表シ聊カ蕪辭ヲ述ヘテ答辭トス

昭和十三年七月十九日

受賞團體代表

足柄上郡金田村道路愛護會

會 長 間 宮 彦 三

正 誤

道路の改良第二十卷第八號說施欄

ページ	行 數	誤	正
一〇〇	上 一七	坐々	坐る
"	下 三	沖	沖。
"	" 一〇	日部下	日下部
"	" "	從行	隨行
"	" "	調べる	權べる
一〇二	" 二	段斯	如斯
"	" 一五	哭臺	賢臺
"	" 一七		